

レオナントース通信

www.nakanishireo.com/

挑戦を続ける
中西レオ

2022年11月号 発行：中西レオ応援団

見直そう!! 大人は会食 子供は黙食

全国の自治体では、福岡市や宮崎県のように黙食を見直して緩和するケースもあれば、神奈川県藤沢市のように黙食を維持するケースもあります。まさに自治体の判断。

明石市民の声は？ 市長は？ 教育委員会は？ 議会は？

元通り」とまではいかなくとも、そろそろ「感染対策+コミュニケーション」に移行しましょう。

明石の小中学校で、いまだに行われている黙食指導。2年半もの間、子供は真面目に従っています。とはいえ、大人は会食を楽しんでいるのが現状。「全て

医療専門サイトのm3（エムスリー）の調査では、医師の61.8%が黙食指導を見直すべき、と回答。（n=966人）小児科医に限ると78.4%（n=51人）でした。記述回答では、「子供たちの将来が心配」「大人がしないなら終了」などが挙げられました。

子供を信じて

黙食を見直した市では、「机は前向き」、「換気・手洗いの徹底」、「いただきます時はマスク」といつたルールを設けています。また、子供も自ら「声が大きすぎるとよくないね」と気を遣うケースも見られます。

ずっと黙食というのは、大人だって大きなストレス。長期的に見ると成長にどのような弊害が出るかわかりません。

感染状況は日々変化します。柔軟に対応していきましょう。

大人は会食、子供は黙食

小児科医の78%が見直すべき

なぜ他市は明石市と同じことをしないのか？

「明石市は凄い」「どの町も真似すべき」という意見を聞くようになります。では、なぜ他の自治体では同じようなことをしないのでしょうか？

神戸市長の考え方

お隣の神戸市は人口が流出しています。ときに明石市と比較され、「明石のように無料化すべし」という声も聞こえます。神戸市長はインタビューで、「福祉のために使えるお金が増えやすやす、企業活動を盛んにするなどして財源を増やす努力をする。これと福祉を盛んにすると、いうことは全く矛盾している」と述べられています。

一方、明石市長は、「福祉を増やして経済を回す」という主張。どちらにも理があります。

支出の方がかなり多い

国の仕組みに問題があり、明石市が頑張つて税収を増やすと、国からの仕送り（交付税）が減るようになっています。市税が32億円増えると、交付税は24億円減らされるイメージ。

無料化、続けられますか？

収支が合っていなければ、いずれサービス水準を下げないと困るだろう。「それまでに国や市長は大変な苦労を背負われる。これまでに景気が良くなるだろう」「それまでに国が無料化を広げる（市の負担が減る）だろう」という見込みなど、許されません。

本当の財源

税収増でも収支は全く合っていない中、本当の財源はどこでしよう？

それは、土木や治水の予算。これらは金額が大きいのですが、政策的には注目されません。されどろか、市長からは無駄や利権などと表現される始末。さて、どのような工事が無駄として削られたのか、次号でお伝えしてまいります。

